

果樹病虫害発生予察調査結果（8／9調査分）
（三条、加茂、田上地域）

8月9日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- ナシヒメシンクイの誘殺数は昨年より少ないものの、加害樹種の中心は今後、モモからナシへ移行するため、JAの防除情報等を参考にし、被害防止に努めましょう。
- 一部で、ハダニ類の発生が確認されています。高温・乾燥が続くと多発生が懸念されますので、葉裏の寄生状況を観察し、発生初期に防除を実施しましょう。
- クワシロカイガラムシはふ化期を迎えています。園地の状況を確認し、ふ化期のうちに防除を実施しましょう。
- 今回調査でカメムシ類による被害は確認されませんでしたでしたが、県内他地域では平年より発生が多い傾向です。被害が見られた場合は、夕方に防除を実施しましょう。
- 台風5号の進路に注意し、荒天になる前に防風・排水対策を実施しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は発生が増加しています。り病葉や落下した果実は見つけしだい園外へ持ち出し、ほうき枝となりそうな徒長枝は、8月末までに整理しましょう。
- 一部で、黒星病の発生が確認されています。発生量の少ない状態が続いていますが、収穫中の品種へのドリフトに注意しながら、定期的な防除で被害防止に努めましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- **せん孔細菌病**は全調査園地において、新梢葉への発病が確認されています。収穫後の防除で、来年の発生量を減少させましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 目立った被害は確認されませんでした。引き続き定期的な防除や被害部位の除去に努めましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

次回調査は8月26日(月)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020